

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-31442

(43) 公開日 平成7年(1995)6月13日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>  
B 6 0 J 5/00

識別記号 庁内整理番号  
5 0 1 K 8711-3D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 2 頁)

(21) 出願番号 実願平5-68032

(22) 出願日 平成5年(1993)11月26日

(71) 出願人 000196107

西川ゴム工業株式会社

広島県広島市西区三篠町2丁目2番8号

(72) 考案者 岩本 篤治

広島市西区三篠町2丁目2番8号西川ゴム  
工業株式会社内

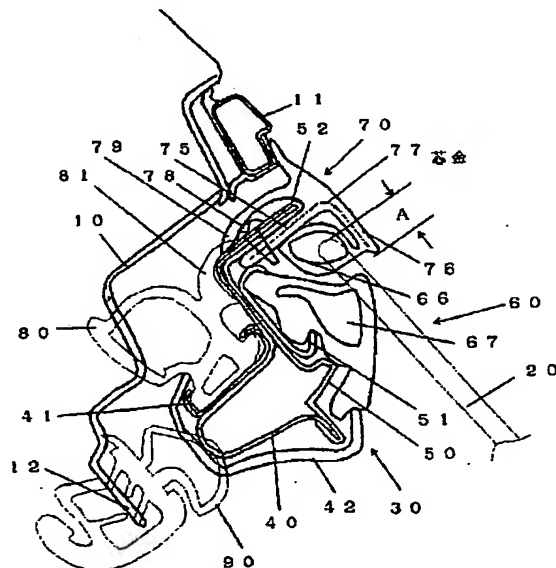
(74) 代理人 弁理士 古田 剛啓

(54) 【考案の名称】 マルチブレックスランチャンネル

(57) 【要約】

【目的】 盗難防止機構を備えたマルチブレックスランチャンネルを提供する。

【構成】 ドアサッシュ・ドアガラス20間をシールするグラスラン60、及びドアサッシュ・ボディ間をシールする見切りシール70を取付けてなるランチャンネルであって、前記見切りシール70の基部75の室外側下端に、ドアガラス20の上端部室外側の面を覆う下垂部76を垂設し、その下垂部76の下端にドアガラス20の上端面と弾接させるグラスラン60の上中空シール部分66を一体に結合すると共に、前記見切りシール70の基部75及び下垂部76に断面略L字状の芯金77を埋設し、その芯金77を埋設した見切りシール70の基部75を、ランチャンネル本体50のフランジ部52の下面に重ねて、ネジ78等により取付けてある。



(2)

1  
【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ドアサッシュ・ドアガラス(20)間をシールするグラスラン(60)、及びドアサッシュ・ボディ間をシールする見切りシール(70)を取付けてなるランチャンネルであって、前記見切りシール(70)の基部(75)の室外側下端に、ドアガラス(20)の上端部室外側の面を覆う下垂部(76)を垂設し、その下垂部(76)の下端にドアガラス(20)の上端面と弾接させるグラスラン(60)の上中空シール部分(66)を一体に結合すると共に、前記見切りシール(70)の基部(75)及び下垂部(76)に断面略L字状の芯金(77)を埋設し、その芯金(77)を埋設した見切りシール(70)の基部(75)を、ランチャンネル本体(50)のフランジ部(52)の下面に重ねてネジ(78)等によって取付けてなるマルチプレックスランチャンネル。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来例におけるドア上部とボディ開口端縁部分との鉛直断面図である。

【図2】本考案における図1相当図である。

【符号の説明】

- 10 ボディ開口端縁  
11 モール  
12 フランジ

\* 20

30

40

41

42

50

51

52

60

10 61

62

66, 67

70

71

72

75

76

77

78

20 79

80

81

90

\* A

2

ドアガラス

ドアサッシュ

メインフレーム

リテーナー

カバー

ランチャンネル

リテーナー

フランジ部

グラスラン

中空シール部

シールリップ

中空シール部

見切りシール

U字状トリム部

芯金

基部

下垂部

芯金

ネジ

サブリップ

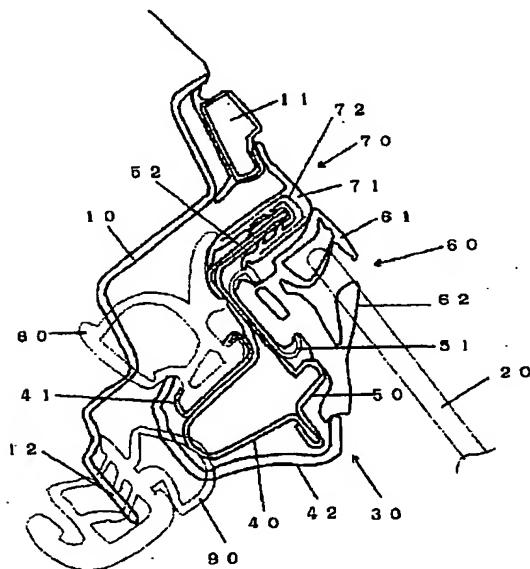
メインシール

サブリップ

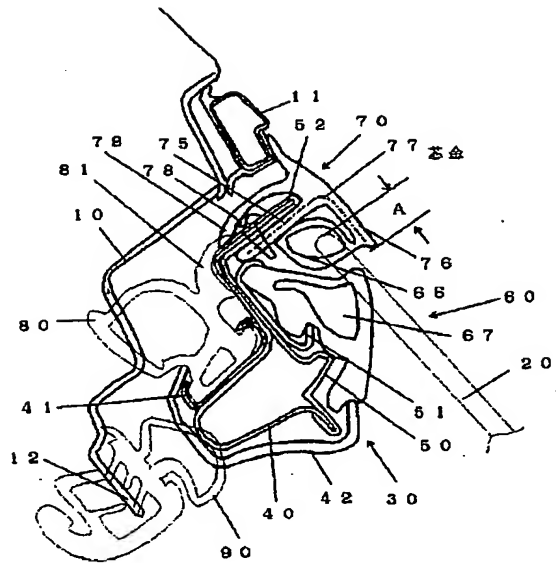
サブシール

重なり幅

【図1】



【図2】



## 【考案の詳細な説明】

## 【0001】

## 【産業上の利用分野】

本考案は、ドアサッシの一部であって、ボディ開口端縁に取付けたモールと弾接させ、ドアサッシ・ボディ間をシールする見切りシールを取付けると共に、ドアガラスと弾接させ、ドアサッシ・ドアガラス間をシールするグラスランを取付けるランチャンネルに関するものである。

## 【0002】

## 【従来の技術】

図1を参考にして説明する。従来、ボディ開口端縁に弾接させ、ドアサッシ・ボディ間をシールする見切りシールを取付けると共に、ドアガラスと弾接させ、ドアサッシ・ドアガラス間をシールするグラスランを取付けるランチャンネルとして、図1に示す構成のものが使用されている。

## 【0003】

すなわち、ランチャンネル50は板金を折り曲げて断面略L字状に形成してあって、室内側に向かって、下向きの段状に形成したボディ開口端縁10に沿って設けるドアサッシ30の一部として、同じく板金を折り曲げて形成した断面略U字状のメインフレーム40の室外側に結合してあり、その室外側の面に、リテーナー51を介して、ドアガラス20と弾接させるグラスラン60を嵌着すると共に、フランジ部52にボディ開口端縁10の室外側段部外面に取付けたモール11と弾接させる見切りシール70を嵌着してある。72は見切りシール70の芯金である。なお、グラスラン60の中空シール部61と見切りシール70のU字状トリム71とは、上下に相接し、且つ外面が面一になるよう配置してあって、上昇したドアガラス20によって突き上げられた中空シール部61を、U字状トリム71によって受け止めるようにしてある。

## 【0004】

その他、12はボディ開口端縁10の室内側に下方に突出させたフランジ、62はグラスラン60の下部室外側の面に突設したシールリップ、80は前記メインフレーム40の上面のリテーナー41に嵌着し、ボディ開口端縁10と弾接さ

せるメインシール、90は前記フランジ12に嵌着し、メインフレーム40のカバー42と弾接させるサブシールである。

#### 【0005】

しかしながら、上記従来のグランランチャンネル50には、グラスラン60の中空シール部61とドアガラス20との間に棒等を差込み、こじ開け、ドアロックを開くことを防止する機能がなく、盗難のおそれがあると共に、グラスラン60及び見切りシール70がグランランチャンネル50と別体となっていて、組み付け作業が煩雑となり、外観的にもすっきりしないという問題点がある。

#### 【0006】

##### 【考案が解決しようとする課題】

解決しようとする問題点は、従来のグランランチャンネル50には、グラスラン60の中空シール部61とドアガラス20との間に棒等を差込み、こじ開け、ドアロックを開くことを防止する機能がなく、盗難のおそれがあることである。

#### 【0007】

##### 【課題を解決するための手段】

図2を参考にして説明する。本考案は、ドアサッシュ・ドアガラス20間をシールするグラスラン60、及びドアサッシュ・ボディ間をシールする見切りシール70を取付けてなるランチャンネルであって、前記見切りシール70の基部75の室外側下端に、ドアガラス20の上端部室外側の面を覆う下垂部76を垂設し、その下垂部76の下端にドアガラス20の上端面と弾接させるグラスラン60の上中空シール部分66を一体に結合すると共に、前記見切りシール70の基部75及び下垂部76に断面略L字状の芯金77を埋設し、その芯金77を埋設した見切りシール70の基部75を、ランチャンネル本体50のフランジ部52の下面に重ねてネジ78等によって取付けてある。

#### 【0008】

##### 【実施例】

実施例について説明すると、10は室内側に向かって、下向きの段状に形成したボディ開口端縁、11はそのボディ開口端縁10の室外側に取付けたモール、12は前記ボディ開口端縁10の室内側に下垂させたフランジ、20はドアガラ

ス、30はドアサッシュであって、断面略U字状のメインフレーム40及びそのメインフレーム40の外面に取付けた、断面略L字状のマルチプレックスランチャンネル50よりなる。

#### 【0009】

51はそのランチャンネル50の室外側の面に取付けたりテーナー、52はりテーナー51を取付けた面の上端に室外側に向かって折設したフランジ部、60はりテーナー51に嵌着したグラスランであって、ドアガラス20の室内側の面と弾接させる下中空シール部分67を一体に結合してある。70は前記モール11と弾接させる見切りシールであって、次のように構成される。

#### 【0010】

すなわち、75は見切りシール70の基部、76はその基部75の室外側下端に垂設した、ドアガラス20の上端部室外側の面を覆う下垂部であって、その下端にはドアガラス20の上端面と弾接させるグラスラン60の上中空シール部分66を一体に結合してある。

#### 【0011】

77は前記基部75及び下垂部76に埋設した断面略L字状の芯金である。その芯金77を埋設した見切りシール70の基部75は、前記ランチャンネル本体50のフランジ部52の下面に重ねて、ネジ78で取付けてある。

#### 【0012】

なお、ドアガラス20が下垂部76を越えて室外側に引出されないよう、下垂部76の長さを、閉じたドアガラス20との重なり幅Aが確保される長さ、すなわち、その下端が、少なくともドアガラス20の先端よりも下に来る長さにしてある。

#### 【0013】

その他、80は前記メインフレーム40の上面に、リテーナー41を介して取付け、ボディ開口端縁10と弾接させるメインシール、90はそのフランジ12に嵌着し、メインフレーム40のカバー42と弾接させるサブシールである。又、モール11は設けても良いし、外しても良い。

#### 【0014】

作用について説明すると、閉じたドアガラス20が下垂部76を越えて室外側に引出されないよう、下垂部76の長さを、閉じたドアガラス20との重なり幅Aが確保される長さにしてあるため、グラスラン60の中空シール部66とドアガラス20との間に棒等を差込むことが出来ず、こじ開けて、ドアロックを開くことが出来ず、盗難を防止することが出来る。また、グラスラン60及び見切りシール70がグラスラン60の中空シール部66と一体になっていて、単純化されており、組み付けも容易であり、外観も向上する。

#### 【0015】

尚、見切りシール70の室内側よりサブリップ79を延設させてネジ78をおおうことにより、見栄えの向上を図ることができる。又、メインシール80のサブリップ81をのばしネジ78をおおっても良い。

#### 【0016】

##### 【考案の効果】

本考案は以上のように構成されるため、グラスラン60の中空シール部66とドアガラス20との間に棒等を差込むことが出来ず、こじ開けて、ドアロックを開くことが出来ず、盗難を防止することが出来る。また、見切りシール70と中空シール部66と一体になっており、組み付けも容易であり、外観もよい。